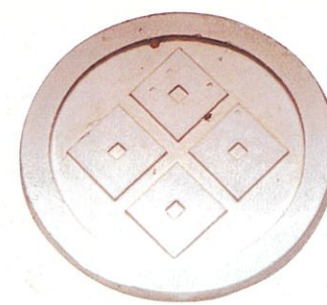
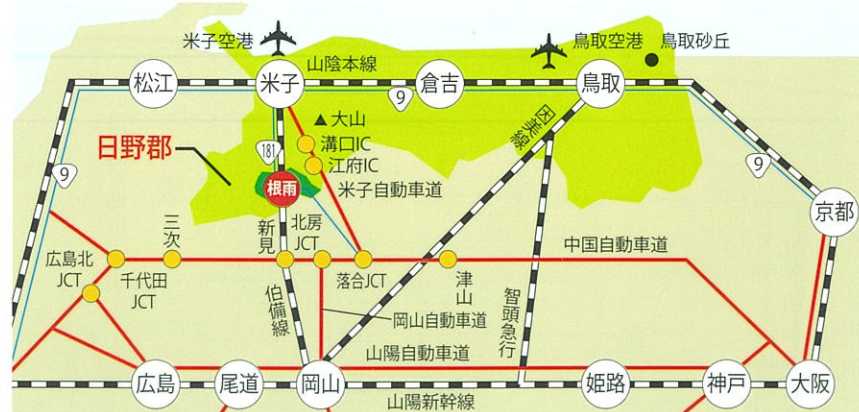


出雲街道の傍に
ひっそりと



古民家 沙々樹



アクセス JR 伯備線根雨駅（特急やくも停車駅）徒歩5分
米子道江府ICから国道181号線を車で10分
米子鬼太郎空港から国道181号線を車で1時間



旧出雲街道



日野町に飛来したおしどり

古民家 沙々樹 利用ガイド

- 体験型民泊が出来ます。（共同調理が条件です。1家族・1グループ(5名迄)の利用に限ります。）
- 周辺地域のガイドを致します。
例1 歩いて5分、宿場町として栄えた根雨（ねう）の町中を散策します。
所要時間 約1.5時間
（延暦寺・本陣跡・日野町歴史民俗資料館・たたら楽校・近藤家等）
例2 松江藩主の参勤交代のルートであった旧出雲街道を歩きます。
木々の間を通り、標高479メートルの間地峠（まじだわ）を往復します。
4キロ 所要時間 約2時間（うなぎ池・舟場山たたら跡・間地峠）
- 古民家でゆっくり竹細工・苕玉づくり・勾玉づくり体験もできます。
いずれも 予約（21日前までに）が必要です。

併設

奥日野ガイド倶楽部事務所

住所 〒689-4505
鳥取県日野郡日野町舟場357

電話 0859-72-1350
（古民家「沙々樹」共用）

<http://www.okuhino-club.jp>
（古民家「沙々樹」情報も同時掲載）

お問い合わせ

古民家
沙々樹

TEL: 0859-72-1350
携帯: 090-2299-6191
E-mail ykm-sasaki@sea.chukai.ne.jp

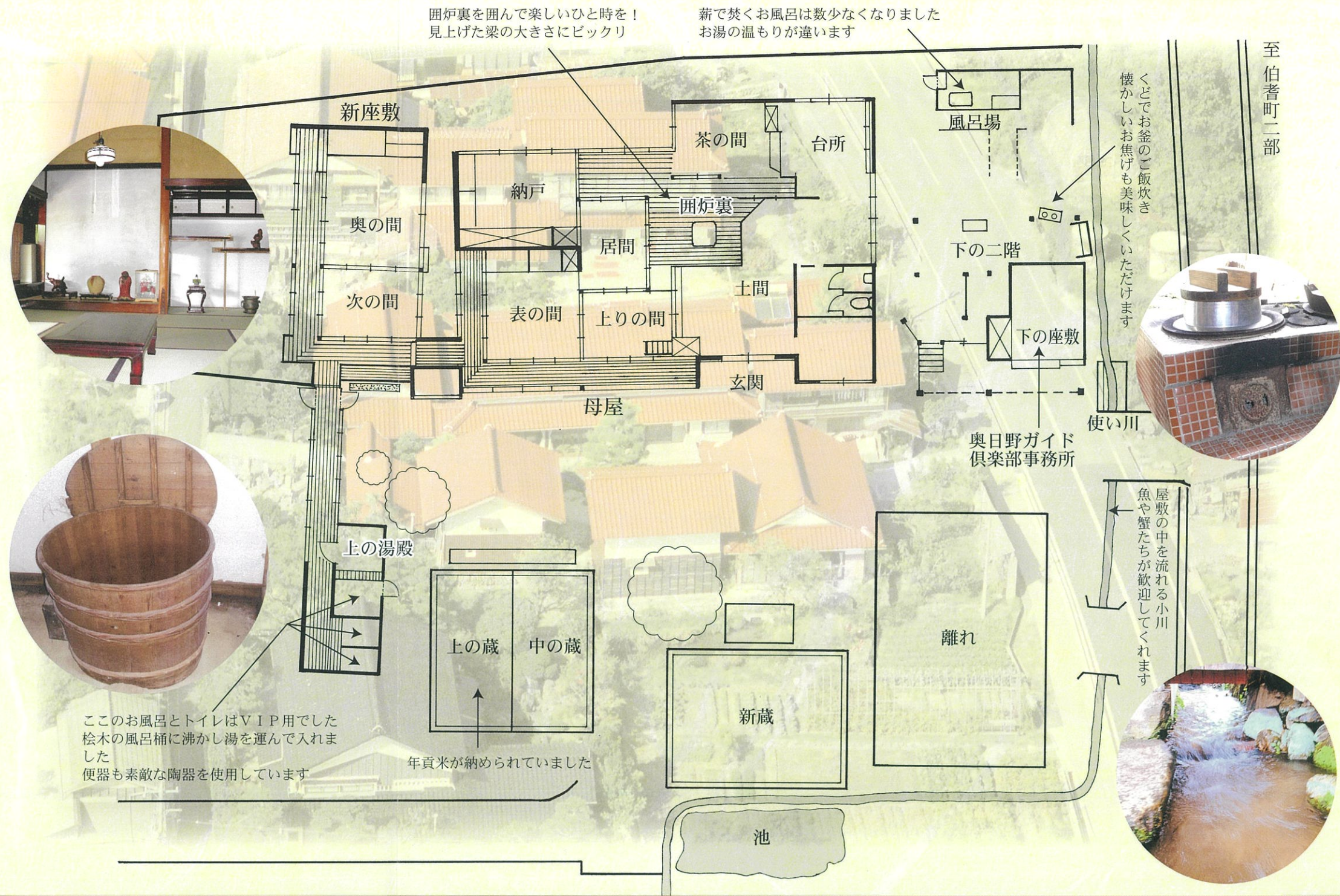
〒689-4505
鳥取県日野郡日野町舟場 357
あるじ 佐々木 彬夫（よしお）

鳥取県 日野町 舟場

古民家 沙々樹

遡れば、隠岐に配流となった後鳥羽上皇、後醍醐天皇が下ったとされる道。
 参勤交代の務めを果たすべく松江藩主、広瀬藩主が歩いた道。
 出雲大社、一畑薬師、大山寺に詣でた道。
 伊勢、京都、大坂、四国へと出向いた道。
 三大牛馬市として名高い大山博労座を目指して牛馬を引き連れた道。
 雲州木綿、和鉄、中海のうなぎと物資の輸送に賑わった道。
 人はその「道」を出雲往来とも、上方往来とも、出雲街道とも、うなぎ街道とも称した。
 今は、当時の往来の騒々しさを夢想することさえ難しい。
 だが間地吼（まじだわ）に立てば、木立が、風が、石地蔵が何かを語りかけてくれるように思える。
 そんな「道」の傍らに古民家「沙々樹」は在る
 往時の雰囲気の一部を手繰り寄せたい。
 往時の証を目にしたい。
 往時の風に触れてみたい。
 そんな移ろいに身を置く「空間」を訪れる人に提供したい。
 江戸時代、文政12年（1829）からの建物を残してくれた「先達」に感謝しながら……

(主の想い)



新座敷にある富次精斎作の欄間

富次精斎（1856~1944）島根県能義郡伯太町（現安来市）出身の宮大工で昭和2年に舟場の正音寺の建立の際に制作したもの。73歳老刀の銘があります。



西園寺公望書の扁額

1868年山陰鎮撫使として松江入りした西園寺公望が帰路当地を通過した際に書かれたとされています。一行（800人）の通過で地元は大騒ぎだった記録があります。



雛飾り

上段の雛は、9代頭一の妻タメノが嫁入りした際に持参したとされる明治期のもの。当時、男子誕生を祝って天神様の押し絵雛も3月の雛の節句に飾ったとされています。



山村体験

近くの日野川に飛来する「オシドリ」の餌となる「どんぐり」を贈った縁で、地元「オシドリグループ」との交流を目的に春・夏に東京杉並の子供達が訪れます。



古民家コンサート

太い梁から自在鉤がぶら下がり、大鍋が吊るされた囲炉裏端でコンサートを開催しています。地元の方々に生の演奏を楽しんで頂いています。



ぶらり出雲街道

古民家「沙々樹」の横には旧出雲街道が名残りを留めています。約1時間で標高479メートルの間地吼（まじだわ）に到達します。島根半島や隠岐の島が遠望できます。